

# 賛助会員募集中

私たちは「誰もが安心して暮らすことができ、お互いに支え合える地域づくり」を目指しています。この目的に賛同して下さる方々に賛助会員に加入していただき、納めていただいた会費を白石区の地域福祉活動に使わせていただいております。賛助会費は「福祉のまちづくり」を進める貴重な財源です。

年会費 個人(一口)1,000円 団体(一口)10,000円

昨年度も多くの方に、ご賛同いただきました。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

賛助会員数 63名+8団体 賛助会費 487,000円

本会の活動に賛同して下さった賛助会員のご紹介 (令和5年3月~5月) (納入日順)

**個人会員 12名**  
 ・宮田 祐二 様 ・剛光 直 様 ・剛光 千恵子 様 ・山中 忠典 様  
 ・東 みゆき 様 ・蠣崎 三憲 様 ・豊間根 一雄 様 ・明日見 敬一 様  
 ・上納 エミ子 様 ・野村 弘三 様 ・大浅 美智子 様 ・中島 日出男 様

**団体会員 1団体**  
 ・東札幌地区民生委員児童委員協議会 様

## あたたかいご寄付ありがとうございました

寄付者のご紹介 (令和5年3月)

- 社会福祉法人札幌厚生会 様 62,890円
  - 道央建設工業株式会社 様 21,000円
  - 札幌オーナーズ株式会社 様 210,000円
  - 北海道宅地建物取引業協会 様 30,000円
- (区内7ヶ所の子供食堂へ毎月7万円ご寄付いただいております。)

じよんの町を良くするしくみ。

## 赤い羽根共同募金

白石区限定

## しろっぴーピンバッジ2023 できました!

白石区共同募金委員会は毎年オリジナルのバッジを作成しています。今年度は兔年にかけて、しろっぴーがうさぎの帽子を被っています。とても可愛いデザインとなっておりますので、是非募金のご協力をお願いいたします。



1個500円の寄付でお渡ししています



お申込みについては、直接お越しいただくか、お電話等で承っております。申込書は上記QRコードを読み込んでいただければダウンロードできます。

医療法人 徳洲会  
 TOKUSHUKAI  
**サービス付き高齢者向け住宅**  
**徳洲苑しろいし** 夫婦部屋あります

徳洲会病院との連携により専門スタッフによる医療・介護サービスを利用出来る為、ご家族も安心です

1時間に4便、病院行きのシャトルバス運行中

札幌市白石区栄通18丁目4番10号  
 TEL.011-836-1108  
 FAX.011-836-1172

徳洲苑しろいし 検索

地下鉄駅より徒歩2分!  
 自分らしく生きる いつまでも安心の「わが家」

スーパー、銀行、地下鉄駅などに近く、公園にも隣接する理想的な住環境。介護サービスも医療サービスも充実した、生活利便性の高い終生の住まいです。

サービス付き高齢者向け住宅マイラシーク南郷  
 TEL 011-866-0800 Fax 011-866-0801

# しろいし区 社協だより

No.103

2023年7月発行

夢や目標について一言いただけてきたまも!

## 老人クラブ菊寿会の皆さん



取材にご協力いただきありがとうございました。

お問い合わせ・連絡先

## 札幌市白石区社会福祉協議会

〒003-8612 札幌市白石区南郷通1丁目南8番1号 白石区複合庁舎1階  
 電話 011-861-3700 FAX 011-866-8999  
 HP <https://www.sapporo-shakyo.or.jp/about/shiroishi-shakyo/>





# シリーズ 福まちかわら版



東白石地区  
福祉のまち推進センター  
事務局次長  
中嶋 亮子さん

札幌市では、市民の方々による自主  
社会福祉協議会（概ね連合町内会）ご  
が設置されており、白石区内には8カ所  
誰もが住み慣れた地域で、安心して住  
めています。  
今号より各地区福祉のまち推進セン  
紹介いたします。

的な福祉活動を行う組織として、地区  
とに「地区福祉のまち推進センター」  
あります。福祉のまち推進センターでは、  
み続けられるよう福祉のまちづくりを進  
める。イ  
ターのイチオシの取組みをシリーズでご



北白石地区  
福祉のまち推進センター  
事務局次長  
森谷 房夫さん

北白石地区  
福祉のまち推進センター  
事務局長  
高橋 健二さん

## 東白石地区福祉のまち推進センター

### Q1. イチオシの取組みを教えてください

東白石地区福まちでは、例年、地域の 75 歳以上のお一人暮らしの方を対象に「お一人暮らしのお年寄りとの懇談会」を東白石会館と南栄会館の 2 か所で行っています。ここ 3 年間はコロナ影響で中止していましたが、昨年は感染状況が少し落ち着いてきたため、学校の体育館の体育館を広く使うことで感染防止に配慮しながら再開しました。

東白石小学校 2 年生と本郷小学校 4 年生の児童を交流し、児童からは合唱やよさこいの披露、地域からは南京玉すだれ、ヴァイオリン演奏を披露し、楽しいひと時を一緒に過ごしています。

この取り組みは 15 年程続いております。今年度も世代間交流を大切に、多くの方に参加していただきたい

### Q2. 今後の活動について

事務所がこちらに移転する前は、多くの方が気軽に立ち寄りおしゃべりをされて行かれました。今の事務所もこれまで同様、地域の方に愛される居場所になればと思います。

今後は、「相談」に力を入れていきたいと思っています。私たち役員が研修などを通じ、地域の方が安心して気楽に話して下さる場所になるよう活動を続けてまいります。

令和 4 年 10 月 お一人暮らしのお年寄り懇談会の様子



## 北白石地区福祉のまち推進センター

### Q1. イチオシの取組みを教えてください

北白石地区福まちの『福祉の電話相談室ふれあい』（以下、『ふれあい』）は、地域の方の相談をお聞きしています。平成 30 年に北白石地区高齢者福祉計画を策定し、その中心事業である『ふれあい』を開設しました。相談員は、福まち役員以外に、連合町内会や民生委員からご協力をいただき、週 3 回（月・水・金）、10～13 時、2 名体制でお待ちしております。

相談は、ちょっとした日常生活の困りごと、医療・介護に関すること等、多岐にわたります。私たちが対応できない内容は、専門機関や関係団体につながります。

『ふれあい』は、地域の方一人ひとりの声を聞くことができる大切な取組みと感じています。小さなことでも気軽に相談できる場所となるよう、この活動に力を入れていきたいと考えています。

### Q2. 今後の活動について

「第 2 次北白石地区福祉計画（実施期間：令和 5 年～令和 7 年）」を策定し、今年度より計画の実行に取り掛かっています。とりわけ「認知症高齢者への支援」に重点をおき、関係機関と連携し認知症関係の研修会開催やチラシ等で認知症の啓発、家族介護者の支援を行います。また、子どもへの取組みについても学校や PTA 等の関連団体と意見を交わし、課題の抽出・整理をしていきます。



電話相談室の様子



第 2 次北白石地区福祉計画が発表された福祉フォーラムの様子